

ふじさん
富士山直轄砂防30周年記念事業

受賞機関
富士市
富士宮市
静岡県
国土交通省中部地方整備局 富士砂防工事事務所

平成11から12年度にわたり、直轄砂防着手及び事務所設立30周年に関する記念事業を実行委員会（会長：富士宮市長）のもと実施した。「富士山の昨日、今日、明日 - 富士山を見つめ、学び、富士山を愛する人々と語る - 」をテーマにこれまでの事業を総括し、地域や一般の意見を積極的に収集し、今後のあるべき事業展開を模索した。

広範な分野の方々に理解していただけるよう、平易、かつビジュアルにとりまとめ、砂防事業のみならず富士山の自然条件、社会環境まで対象とした。富士山を見つめ、愛する人々と語る

現地での体験を重視し、従来から実施していた砂防施設、大沢崩れの現地見学会を積極的に実施し、（90団体延べ2,050人14カ国）、特に多数の有識者を案内した。

また、22年間通行不能であった富士山中腹を周回する「御中道」約25kmを一周し富士山の実態を学ぶ「御中道ぐるっと360°」を開催した（H11年9月11・12日今井通子塾長200名参加、H12年9月30・1日貫田宗男塾長100名参加）。

文学者の目から見た「大沢崩れ」を紹介するため、映画「幸田文『崩れ』富士山大沢崩れ」を制作した。

その他、出前講師、総合学習への積極的な取り組み（21回1,500名）、事務所内に砂防コミュニティーホール開設、道の駅に情報提供装置設置、ホームページ開設、広報誌リニューアル、配布先拡大など、富士山に関する積極的な情報発信を行った。

富士山を学ぶ

富士砂防の新たな展開分野として要望の強い(1)富士山の自然植生の復元、(2)火山防災対策を中心にシンポジウム開催、ハンドブックなど制作した。

(1)富士山火山防災シンポ：

11年10月 富士宮市民文化会館400名。



シンポジウム

12年11月 山梨県富士吉田市450名。

(2)富士山緑のゼミナール：

12年6月2回各400名。

集大成としてのシンポジウム

これら諸処の行事、活動を有機的に展開し、その集大成として事業展開を検討するシンポジウムを実施した。

(1)平成11年11月17日

「富士山の昨日、今日、明日」

富士宮市民文化会館（1,200人）30周年記念式典

・基調講演 青木玉 映画「崩れ」上映

・シンポジウム：池谷浩砂防部長（コーディネーター）今井通子、山村レイコ、青木奈緒、水山高久教授、若林淳之名誉教授

(2)平成12年12月22日

「新世紀へF U J I - Y A M Aを伝えるために」

富士市ロゼシアター 800人

・基調講演 今井通子

・V T R 富士山教室「御中道ぐるっと360°」

・シンポジウム：吉村秀實教授（コーディネーター）

今井通子氏、渡邊新浅間大社宮司、宮崎緑氏、薄木三生環境庁事務所長、増沢武弘教授、岡野真久中部整備局長